



①～④手話ダンスワークショップに参加した子どもたちが「HANDSIGN LIVE in Miyoshi 2025」のオープニングを飾る。⑤観客と距離が近く、一体になって盛り上がる。⑥・⑦字幕が流れる背景スクリーンと、手話を取り入れたダンスで、きこえる人もきこえない人も楽しめるイベントに。⑧終演後にはHANDSIGNの皆さんと「I LOVE YOU」の手話で記念撮影。

音が無くても手と手でつながる。

手話を楽しむ。でつながる。

日本で初めてストリートダンスに手話を取り入れたアーティスト「HANDSIGN(ハンドサイン)」のライブイベント。

手話ダンスワークショップに参加した子どもたちも手話を楽しみ、きこえる人、きこえない人が手話でつながりました。



感情を乗せて表現することの楽しさを第一に教えました。参加者の皆さんは「ダンス未経験」「手話初めて」「耳が聞こえない」という不安を見せず、振付を一生懸命覚えてくれ、本番の出来も100点満点！私自身も楽しい夏の思い出が作れました。

手話ダンスワークショップの講師

HANDSIGN サポートダンサー 瑚(さんご)さん



手話の一つのきっかけに

「きっかけは色々。エンターテイメントから手話の世界に踏み込むのも一つのきっかけだと思っています」。そう話すのは、この日のライブの主役、HANDSIGNのSHINGOさん、TATSUさんの2人。手話を取り入れたダンスと歌声のパフォーマンスで、きこえる人、きこえない人を問わず多くの観客を魅了しました。観客からは「手話って敷居が高いと思っていただけ、壁がなくなった感覚」そんな声も。

楽しむ壁を無くす

HANDSIGNは、東京2025デフリンピックサッカー競技の

オープニングセレモニーでパフォーマンス予定。「音楽はみんなのものなので、壁を無くし、誰もが楽しめる音楽の形を追求しています」。日本に留まらず、世界中のきこえる人ときこえない人をつなぐ、新たな一歩を踏み出します。

手話でつながる

デフリンピックが日本で開催される今年は、音のない世界や手話に触れ、きこえる人ときこえない人がつながるきっかけになります。

この機会に、三芳手話サークルの活動やHANDSIGNのエンターテイメント、デフリンピックの観戦などを通じて、「手話を知ること」から始めてみませんか？

ボーカル&手話パフォーマンスグループ

HANDSIGN ハンドサイン

歌・ダンス・手話を融合し、新しいパフォーマンススタイルを確立したパイオニア。



東京2025デフリンピック
サッカー競技(男子)
オープニングセレモニー

▶日時：11/14(金) 11:00～
▶場所：Jヴィレッジスタジアム(福島県双葉郡広野町下北迫字岩沢1)



Topics

デフリンピック応援
サポーター大募集！

三芳町は、東京2025デフリンピックでマレーシア選手団の事前キャンプを受け入れる全国初のホストタウンとして、応援サポーターを募集します。イベント参加や現地応援を通じて、選手たちと交流し、デフリンピックを盛り上げましょう！



「みよしWell Beingのまちづくり宣言」



三芳町は「誰一人取り残さない共に生きる幸せなまち」の実現をめざしています。



▲瑚さん指導の下、全6回のレッスンで手話ダンスをマスターし、本番に臨みました。

8月30日、「こピスみよしのステージ」には、身体と表情を一杯使ったダンスで客席に笑顔を届ける子どもたちの姿がありました。「HANDSIGN LIVE in Miyoshi 2025」のオープニングを飾ったのは、HANDSIGNサポートダンサーの瑚さんと6人の子どものダンスチーム。「手話ダンスワークショップ」に参加したきこえる子、きこえない子が息を合わせて笑顔弾けるパフォーマンスを披露しました。「きこえない子もいるので、メンバーと目を合わせたり、仕草でカウントを取ったりして連携を取りながら踊りました」。手話ダンスでメンバー同士がつながったことで、最高のパフォーマンスが生まれました。